

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) J F E 鋼板株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 141-0032 東京都品川区大崎1丁目-11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー9階	
本票作成	部署名：玉島製造所 技術管理部 設備管理課				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯、各種塗装鋼板および鋼帯その他薄板の製造・販売 従業員数126名、製造所1、事業所1				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	玉島製造所		倉敷市玉島乙島8252-11	
	②	岡山営業所		岡山市北区中山下1丁目8番4号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	33,996 t CO <sub>2</sub>	36,177 t CO <sub>2</sub>	32,976 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	玉島製造所	36,176 t CO <sub>2</sub>
	②	岡山営業所	1 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 28 年度 ～ 平成 30 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	4.6 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量：288,899千t	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 )年度	目標年度
		131 t CO <sub>2</sub> /(千t)	125 t CO <sub>2</sub> /(千t)	127 t CO <sub>2</sub> /(千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・省エネ法に基づき、エネルギー使用状況を月次で把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。  
 ・昨年6月に完工したガルフレックス生産用炉を従来の蓋を脱着する方式から、炉体ごと入替える方式としたことで、冷却時間の削減を達成でき、ガルフレックス材の生産性を向上しエネルギー原単位を削減できた。  
 ・GL (55%アルミ-亜鉛) 溶解炉の保持温度を見直し低減することで、電力削減することができた一方で、GL溶解炉トラブルが頻発したことで、例年に比べエネルギー使用率の高いGL品種の生産割合が低くなった。このため、結果として、大幅に原単位削減率が向上 (前年度比4.6%) となっているため、今年度リバウンドしないよう計画した措置の実施や追加の削減対策を検討していく。

**【推進体制】**

ISO14001環境マネジメントシステムに則り、製造所長を環境管理責任者、環境安全室長を環境管理推進者とし、省エネルギー項目をマネジメントプログラムに取り入れ、目標削減達成のための活動を推進した。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
玉島製造所	<p>(29年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・天井照明設備の更新、LED化推進</li><li>・各燃焼バーナの調整、補修による高効率化</li><li>・ガルフレックス炉冷却時間の効率化によるガルフレックス材の生産性向上</li><li>・GLPリムルポット保持温度低減による電力削減</li><li>・稼動集中による生産性向上</li><li>・ファン、ブロワ回転数制御の運転適正化</li><li>・クールビズ、ウォームビズ運動の継続</li></ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・燃焼バーナ更新</li><li>・焼鈍炉伝熱チューブ、伝熱面積向上品搭載による、燃料原単位削減</li><li>・空調設備や照明設備更新による高効率化</li><li>・めっき装置用高圧高効率ブロワ更新</li></ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--